



藤本 みのる 通信

Vol 253

2017年3月15日発行

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

県計画を支持し意義を深める質問へ

14日の市議会本会議には、多くの市民が傍聴に見えました。やまびこ支援学校の桂台移転について、市議会が陳情を出したことをめぐり、真意を確認するとともに、移転はどうなるのかという不安をもったことでした。本会議の冒頭で、山田議長から「議会の本意をお伝えしたい」として、次のような訴えがありました。

「議会としましては、やまびこ支援学校が今の宮谷地区から大月市の平坦な地区へ移転すること、また早期建設を希望するものです。ただ、理解を得られていない住民の気持ちを重く受け止め、県議会に慎重な議論を望むための陳情でもありました。大月市議会としては、桂台地区へのやまびこ支援学校移設は反対ではありません。住民への丁寧な説明を県にお願いし、理解を得られた中での建設を引き続き要望してまいります」

私は、甲府市のかえで支援学校が市街地で成功していることを確信に、桂台移転を支持し、支援学校と地域の双方にメリットがあることを深める質問をしました。流れはできました。

(23) 山梨日日新聞 3月15日

大月市「やまびこ」移転 県計画通りに 市長改めて支持表明

大月市の石井由雄市長は「設を同地区に集約する市の方針で行われた市議会3月定例会の本会議で、県教委が計画するやまびこ支援学校(同市富浜町宮谷)の同市桂台地区への移転を支持する考えを改めて示した。県教委の計画が、介護・福祉関連の施設を改め示した。県議会の慎重な審議を求め、陳情書

かじネットワーク

峡中ぐんない 峡東

を提出している。この日の代表質問では2人が同校の移転計画を取り上げ、大月市は、閉校した富浜中の跡地に移転するべきだとし、石井市長の見解をたじた。石井市長は「桂台地区は大規模な平坦な地があり、JR猿橋駅に近い。将来のまちづくりには重要な場所と位置付け、教育、介護、福祉などの施設を集積して地域活性化を

目指す」と答え、県教委の計画通り進めるべきとの考えを示した。

一友 藤本実氏(共産党)

は計画に賛成の立場で、地元住民の理解を得るために市側の丁寧な説明を求めた。石井市長は「二方的な話にならないように、地元自治会や関係機関でつくる連絡協議会と、開発行為などについて情報交換する」と答え

【藤本みのる活動日誌】

- 3月 5日(日) 大月市生涯学習推進大会
- 3月 6日(月) 一般質問通告、全員協議会(やまびこ支援学校について)
- 3月 8日(水) 総務産業常任委員会
- 3月 9日(木) 社会文教常任委員会傍聴、やまびこ支援学校視察
- 3月13日(月) 猿橋中学校卒業式
- 3月14日(火) 市議会本会議・一般質問